

1 研究開発プロジェクト名:

在宅遠隔医療サービスシステムの開発による重症化予防・在宅医療効率化の実現

2 当該年度の研究開発プロジェクト実施予定期間:

2014年4月1日から2019年3月31日 / 5年計画の5年目

3 応募者

氏名	野口 邦晴
所属機関	セコム医療システム株式会社
所属部局	企画本部
職名	担当次長

4 研究開発プロジェクトの概要

近年我が国では超高齢化に伴う社会保障財源の逼迫が大きな問題となり、医療・介護の効率化は喫緊の課題となっている。とりわけ慢性疾患における重症化予防の必要性や在宅医療における効率化のために、在宅患者に対する遠隔モニタリングシステムへの期待が高まっている。そこで本研究開発プロジェクトでは、在宅遠隔医療サービスシステムの開発と、そのシステムを用いた重症化予防・在宅医療効率化の実現を目的としている。

システムの概要は、バイタルデータを Bluetooth 通信が可能な測定機器で取得し、モバイル端末からサーバーへアップロードするもので、遠隔地からでもリアルタイムで患者の状態を確認できる。情報リテラシーが高くない高齢の患者やその家族の方でも、簡単に確実に操作できる仕組みなので、利用者の負担を最小限に抑え、長期利用が可能な遠隔モニタリングシステム（在宅遠隔医療サービスシステム）となることが期待される。

さらに、このシステムを、医療機関等との連携によって慢性疾患患者をはじめとする在宅患者へ導入する実証実験を実施し、運用性や有効性の検証と必要なアラートシステムの洗い出しを行う。この繰り返しにより、実用に耐えうる重症化予防・在宅医療の効率化に寄与する在宅遠隔医療サービスシステムを構築し、超高齢化社会・人口減少社会等に対応する持続可能な社会の実現を目指す。